



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: ひーちゃん さん からの質問
ヤギはどうしてふれあいがとくいなんですか?

ご質問、ありがとうございます。

ふれあい館では、ヤギのいるスペースに入って、動物と直接接することができる「ヤギとふれあい」のイベントを毎日行っています。今回は、ヤギが人に馴れている理由について解説します。



動物園で飼育される動物には、ゾウやキリンなど自然環境に生息する「野生動物」と、ヒツジやウサギなど人間が利用するために改良された「家畜」がいます。

ヤギは、肉や毛、乳などを利用するために改良された家畜です。人に馴れやすい性質を持つ個体を選んで

交配されてきたので、現在のヤギも、野生動物と比べると人に馴れやすい特性を持っています。その特性から、比較的安全に来園者と接することができると考え、当園では「ヤギとのふれあい」を実施しています。



ただ、「人に馴れやすい=ヤギはふれあいが得意」なのかというと、そうとも言い切れません。当園のトカラヤギは好奇心旺盛で人にも比較的馴れていますが、知らない人に後ろから急に近づかれたらびっくりしますし、1日中体を触られたら疲れてしまいます。

そこで当園では、ふれあい時間や参加人数を制限する、展示場内に来園者が入らない休憩スペースを作る、などの工夫をしています。また、ヤギとふれあう前に必ず、職員から来園者に「ヤギが嫌がる時はどんな時か、嫌な時はどんな行動をするのか」を伝えています。そうすることで、来園者の安全を確保するだけでなく、来園者がヤギの気持ちを考えながらふれあうことができると思うからです。

人に馴れやすいヤギの特性に加えて、ふれあい施設や方法の工夫、そして何より来園者が配慮の気持ちをもって参加してくれていることで、ヤギのふれあいは成り立っているのです。